

公共交通計画策定に向けた 追加路線の検証運行について



2026年9月16日

タクシー車両をバスのように運行する実証線が期間限定で走ります



このようなマグネットのついた
タクシーに「バス停で」「決ま
った時間に」乗降できます

運行期間: 令和8年10月~12月
実証運行実施中
真鶴町

画像はイメージです。東村山市HPより一部加工

実施期間

期間限定で運行
(10月~12月)

運行時間・ルート

平日10-17時
半島方面/岩方面

車両・料金

4人乗り車両
(200円/乗車)

※現行のコミュニティバスや路線バスの運行には変更はなく、追加での運行です。

※通常のタクシー運行とは別で定時定路線で運行します。停留所以外では乗降できません。



幸せをつくる
真鶴時間

コミュニティバスの現状

実証実験について



町の財政負担

差引で年間約1,500万円程度の町費
⇔ 財政を支える町民の減少

車両の老朽化

コミュニティバス車両(マナティ号)は
導入から11年が経過・複数回修理を行っている

運転士不足



バス運転士は5年で1割以上減
周辺自治体でも既に一部のバス路線が廃止し始めている

高齢化社会の利便性

真鶴の高齢化率は約45%。
生活の足としての利便性の確保は必要



町の財政負担

差引で年間約1,500万円程度の赤字
⇒ 財政を支える町民の減少

車両の老朽化

コミュニティバス車両(マナティ号)は
導入から11年が経過、複数回修理を行っている

**車両の再検討に向けて、
利便性は維持/改善しながら、
持続できるようにする必要があります
(「交通計画」 として検討中)**

運転士不足



バス運転士は5年で8%減
周辺自治体でも既に一部のバス路線が廃止し始めている

高齢化社会の利便性

真鶴の高齢化率は46%。
生活の足としての利便性の確保は必要

仮説案：少し小さく、こまめに運行できないか？



現状

中型バスで運行中

平均乗車数は4-5人。時間帯によっては車両に対し空席が多い時間もあります

仮説

今のバスに「1時間に1本」で運行すると
ピークを均しつつ**利便性が上がる**のではないかと

打ち手

10人乗りなど 小さめの車両の検討

大型免許がなくても運行できる車格の場合、
運転士の担い手を広げられます
※データを基に適切な車格を検討します

運転士確保

維持コスト

本数を増やして いつでも乗れる生活

本数が増え、待ち時間が減ることで
思い立ったときにちょっとしたお出かけ
ができるようになります

利便性

外出機会



幸せをつくる
真鶴時間

コミュニティバスの現状

実証実験について

タクシー車両を使った、期間限定の運行です



実施期間

1

**期間限定
(10月～12月)**

※ 3 か月で終了の予定です

車両・料金

2

**4人乗り車両
(200円/乗車)**

4 人乗り車両をバスのように
運行します

運行時間

3

平日10-17時

日中のお出かけ時間帯を
運行時間とします

※所定の停留所以外では乗降できません。

※現行のコミュニティバスや路線バスの運行には変更ありません。

タクシー車両をラッピングしてバスと同じように運行します



出典：東村山市

既存のバス停に掲示物を追加します



路線バス ケープ真鶴線の時刻表ではありませんのでご注意ください

平日	半島方面(時計回り)	停留所	半島方面(反時計回り)
	12:02	▼ 小田原百貨店 ▲	10:44
		▼ 小学校下 ▲	
		▼ 東宿中 ▲	
	16:02	▼ 西の浜 ▲	14:44
		▼ 宮前 ▲	
		▼ 大浜口 ▲	
		▼ お花畑 ▲	
		▼ ひなづる幼稚園 ▲	
		▼ 尻掛入口 ▲	
		▼ 釈迦堂前 ▲	
		▼ 情報センター ▲	
		▼ 小田原百貨店 ▲	

小学校下 (実証実験線)
2026年10月~12月のみ



- ※ 所定の停留所以外では乗降できません
 - ※ 4人乗りタクシー車両での運行です
 - ※ 満席の場合乗れない場合がございます
- 真鶴町コミュニティバス

運行日: 平日のみ

運賃: 大人 200円 小人 100円

※ 未就学児は無料

※ 運行は交通状況により遅れる場合がございます。

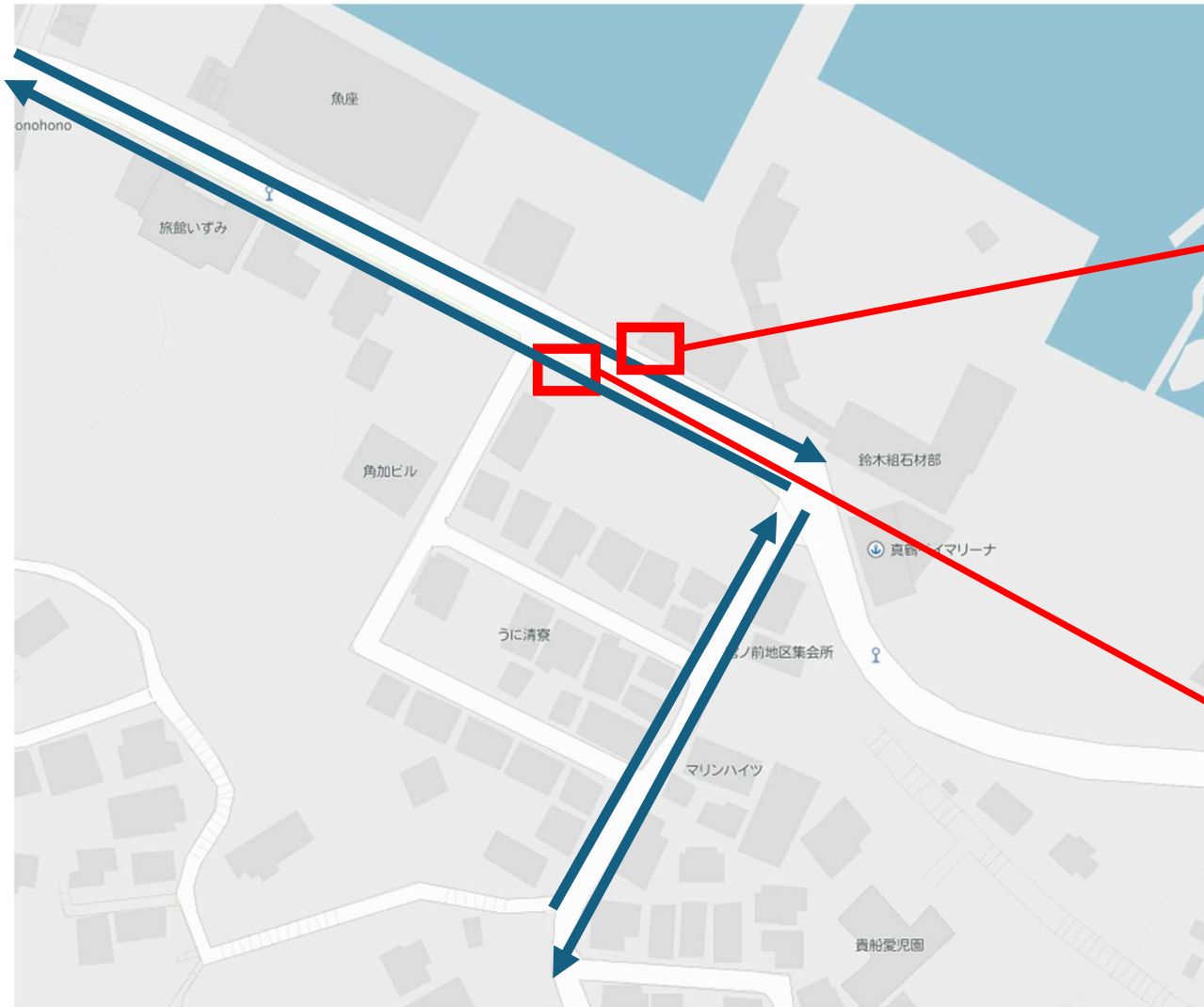
<設置イメージ例>



- ・ 設置予定場所に既存のバス停等が設置されている場合、バス停ポール等に並置。
- ・ 柵等に固定されている場合、周辺に同等の形で固定

※ 宮前のみ新たに設置します。

宮前の設置場所



岩方面・真鶴方面で各 4 便ずつ追加されます



体育館駐車場入口 ⇄小田原百貨店	
体育館駐車場入口	↑
石田保育園前	↑
西ノ入	↑
滝ノ入	↑
橋ノ上	↑
すこや家前	↑
細山入口	↑
大猿山配水池前	↑
石名坂	↑
町営住宅	↑
岩	↑
長坂橋上	↑
岩ふれあい館前	↑
岩地区集会所前	↑
岩海岸	↑
朝倉医院前	↑
町民センター	↑
小田原百貨店	↓

半島回り	
小田原百貨店	↑
小学校下	↑
東宿中	↑
西の浜	↑
宮前	↑
大浜口	↑
お花畑	↑
ひなづる幼稚園	↑
尻掛入口	↑
釈迦堂前	↑
情報センター	↑
小田原百貨店	↓

時計回り 反時計回り

体育館→ 小田百→
小田百 体育館

※バス停は基本的に現行のバス停と同じです
※具体的なルートやダイヤは別紙

既存便と合わせて、おおむね 1 時間に 1 本になります



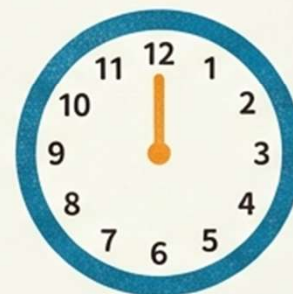
9:00



10:00



11:00



12:00

これまでは3時間空くこともありました。

これからは**毎時運行**。



お買い物で話が弾んでも大丈夫。次のバスがすぐに来ます。

実証線で何が変わるの？（岩方面）



現状の生活パターン



実証路線の生活パターン



実証線で何が変わるの？（岩方面）



毎時1本に増加

4 → 7 便/日

 すこや家前→小田原百貨店(行)

○	9:48	→	10:02		
●	10:06	→	10:19		実証便
●	11:36	→	11:49		実証便
○	12:58	→	13:12		
●	14:06	→	14:19		実証便
○	14:58	→	15:12		
●	15:36	→	15:49		実証便

毎時1本に増加

3 → 7 便/日

 小田原百貨店→すこや家前(帰)

○	10:43	→	10:58		
●	11:00	→	11:13		実証便
●	12:30	→	12:43		実証便
○	14:13	→	14:29		
●	15:00	→	15:13		実証便
○	16:13	→	16:28		
●	16:30	→	16:43		実証便

実証線で何が変わるの？（真鶴方面）



現状の生活パターン

9:56
宮前 出発



10:02
消防分署前で下車



乗り換え待ち：約40分

10:45
小田原
百貨店前到着



※帰りの便は乗り換え待ち59分…

実証路線の生活パターン

10:41
宮前 出発



直通

10:46
小田原
百貨店前到着



急な坂道も
長い乗り換え待ちも、
もう気にしなくていい



実証線で何が変わるの？（真鶴方面）



町中心部への
直行便を追加

3 → 6 便/日

宮前→小田原百貨店(行)

●	9:56 →	10:01		
◎	10:42 →	10:46		実証便 小田百直行
●	10:56 →	11:01		
◎	12:05 →	12:16		実証便 小田百直行
●	13:41 →	13:46		
◎	14:42 →	14:46		実証便 小田百直行

半島方面への
直行便を追加

4* → 7 便/日

小田原百貨店→宮前(帰)

●	10:26 →	10:30		
◎	12:00 →	12:05		実証便 宮前直行
●	13:11 →	13:15		
◎	14:30 →	14:42		実証便 宮前直行
●	15:06 →	15:10		
◎	16:00 →	16:05		実証便 宮前直行

*この図では割愛していますが、
9:02小田原百貨店発の便もあります

乗り方は？



運行時刻

体育館駐車場入口⇔小田原百貨店

→	体育館駐車場入口発	10:00 / 11:30 / 14:00 / 15:30
←	小田原百貨店発	11:00 / 12:30 / 15:00 / 16:30

半島回り

㍿	反時計回り	12:00 / 16:00
㍿	時計回り	10:30 / 14:30

乗り方

- 1 バス停で待つ
予約不要です
- 2 乗ったら200円
荷物があってもOK
- 3 降りたいバス停で下車
普通のバスと同じです

注意点

- 1 平日のみ運行です
- 2 バス停やルート以外での乗降はできません
- 3 所定の停留所以外では乗降できません。
- 4 満席の場合は次の便をお待ちください

よくある質問



① 運転免許の自主返納支援で、
町が配布している割引券(200円券)は使えますか？

② 答 ご利用いただけます。料金お支払いの際運転士にお声がけください。

① どうやって乗ったらいいですか？

② 答 通常のバスと同じようにバス停でお待ちいただき、マグネットを貼ったタクシー車両にお乗りください。支払いは現金が利用いただけます。

① 満員で乗れなかった場合はどうすればいい？

② 答 次の便までお待ちいただくか、現行バスをご利用ください

みんなでつくる、真鶴の新しい足。

実証実験は3か月で
終了しますが
今後の交通計画の検討に
反映していきます

